

【2023年上半期の火災統計について】

2023年上半期の火災統計（速報値）を取りまとめましたので公表します。

※ 速報値としての公表であり、精査の結果、数値を修正する場合があります。

※ 小数点を含む数値は小数点第二位を四捨五入して表記しています。

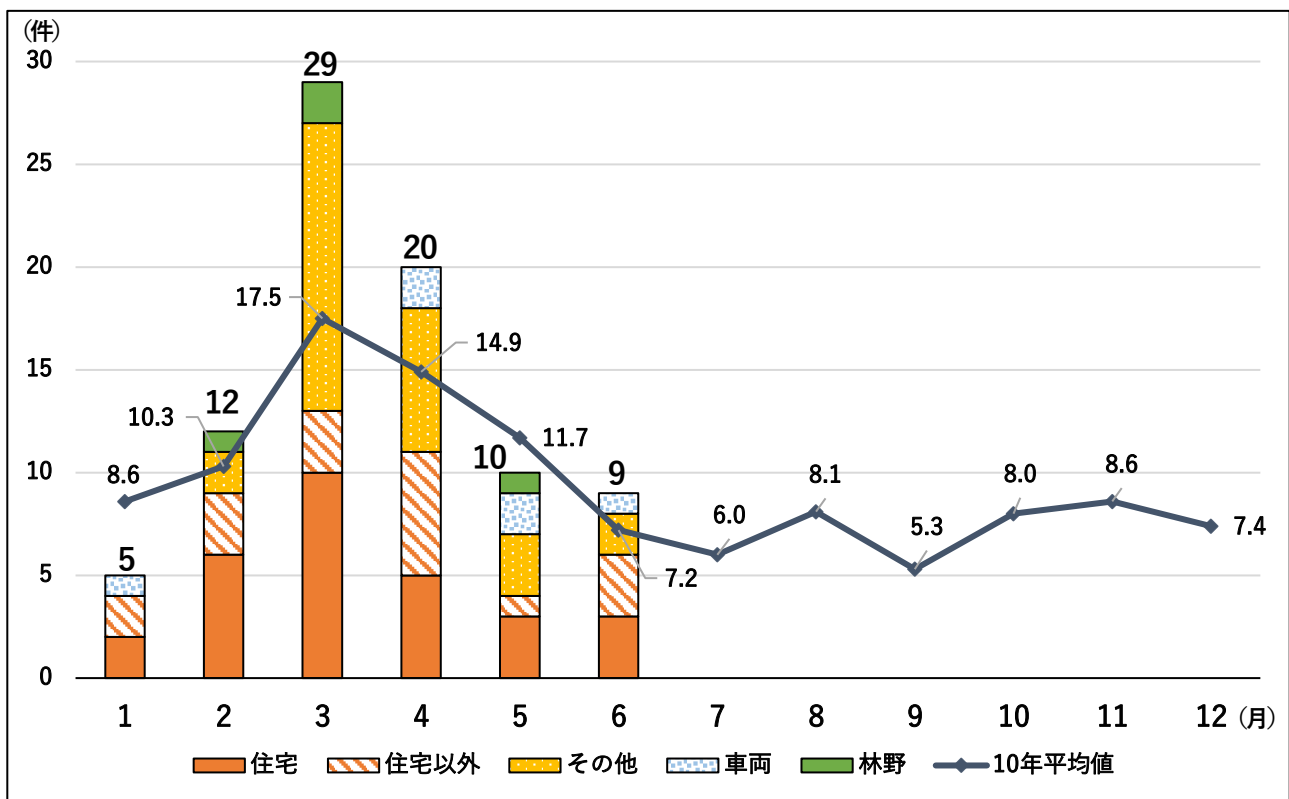
※ 平均値は、2013年から2022年までの10年間の数値の平均です。

1 月別火災件数

2023年上半期の火災件数は85件で、昨年同期の62件と比較して23件（37.1%）増加しました。※ 過去10年間の同期間の平均値は70.2件。

月別の件数をみると、3月が最も多く29件、次いで4月が20件と続きます。

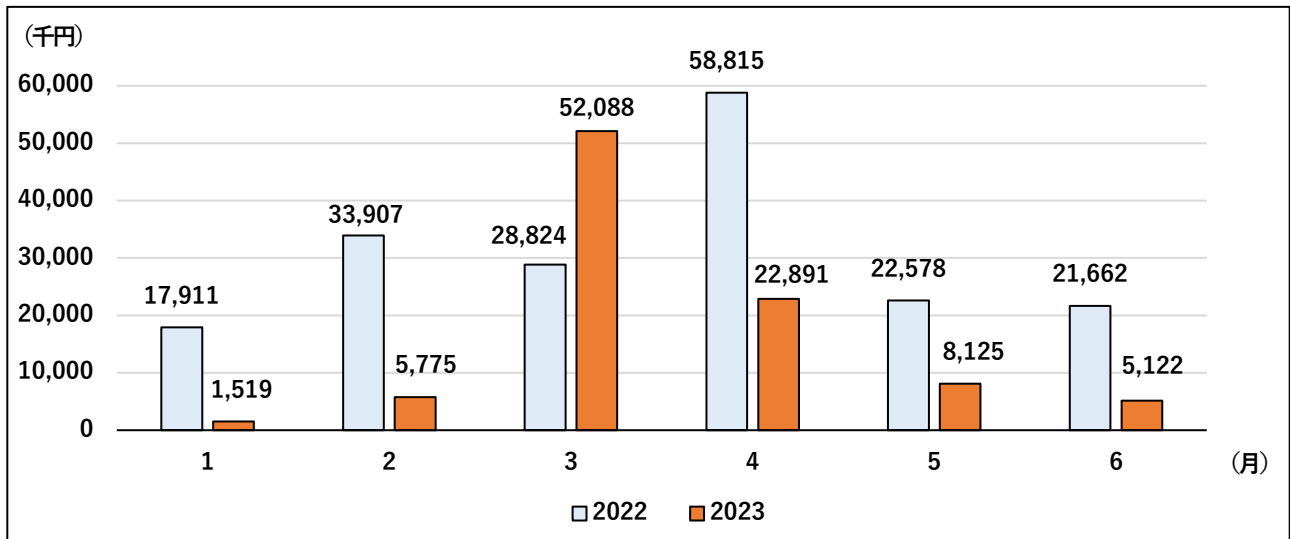
住宅火災に着目すると、3月が10件で最も多くなっています。



2 月別損害額の推移

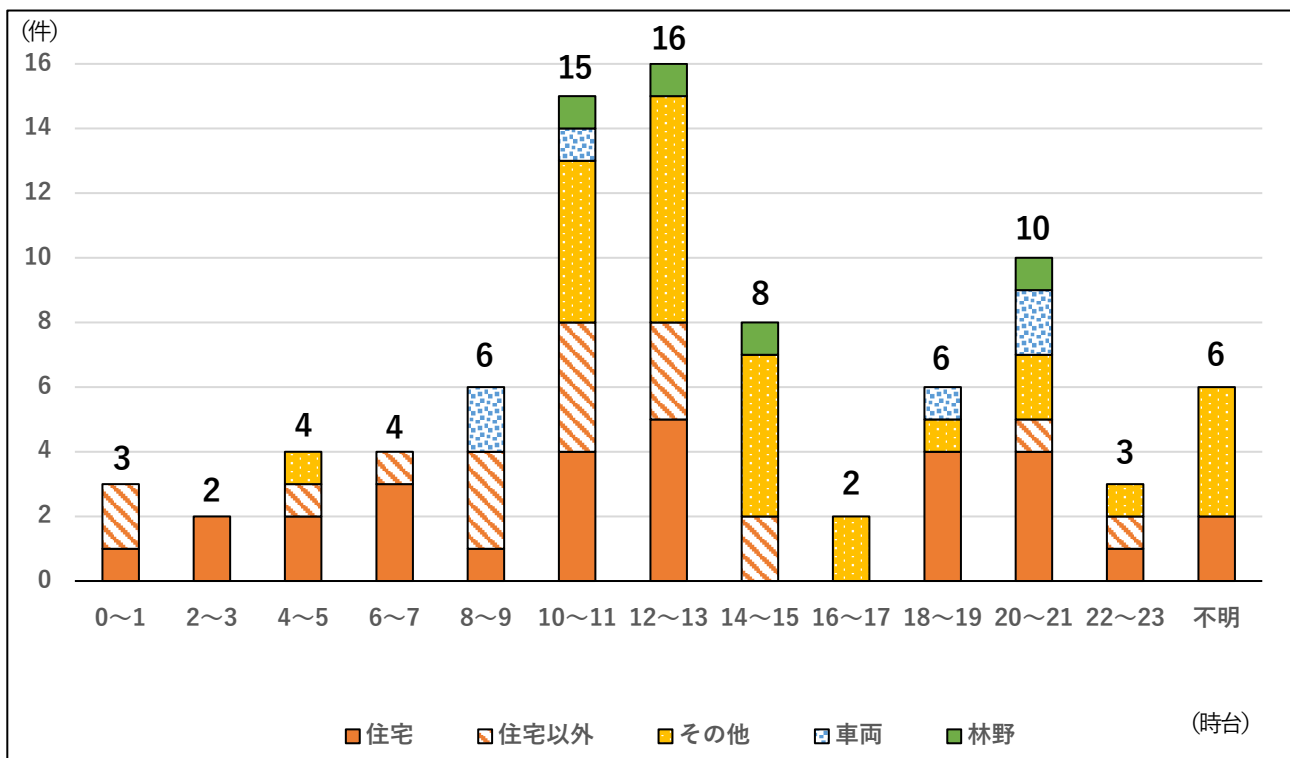
2023 年上半期の火災による損害額は合計 95,520 千円で、2022 年同期間の 183,697 千円と比較して 88,177 千円（48.0%）減少しました。

月別にみると、3月が最も多く 52,088 千円となりました。



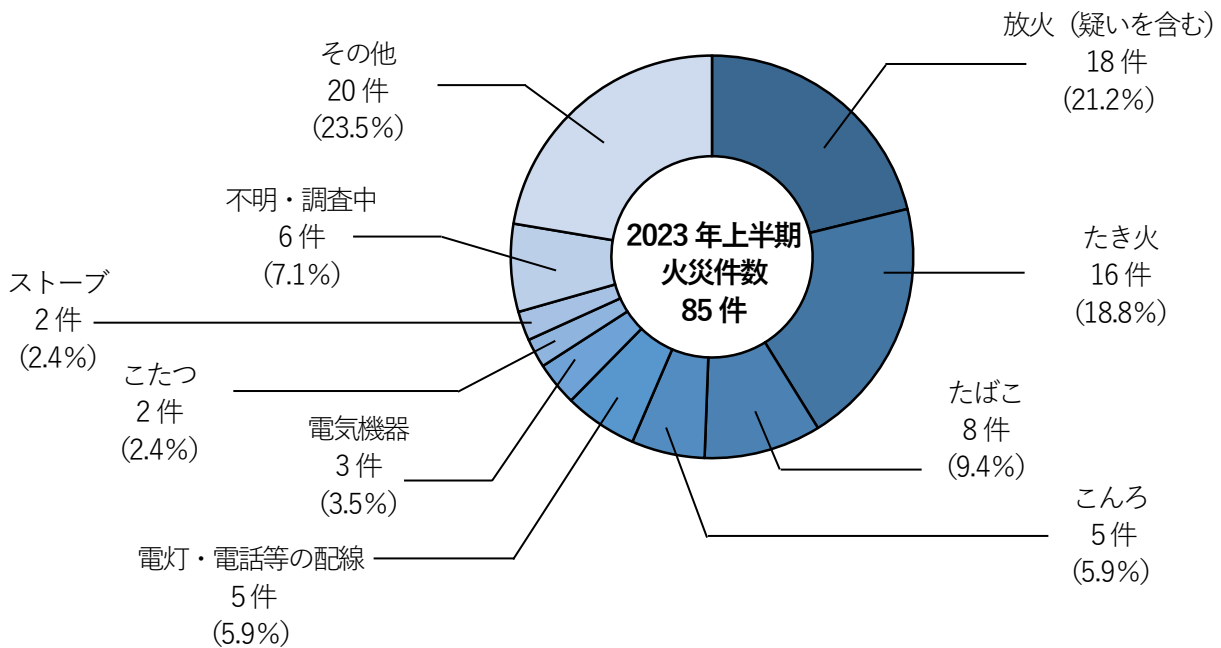
3 出火時間帯別の火災件数

出火時間帯別の火災件数をみると、「12時～14時」が16件で最も多く、次いで「10時～12時」が15件と続きます。



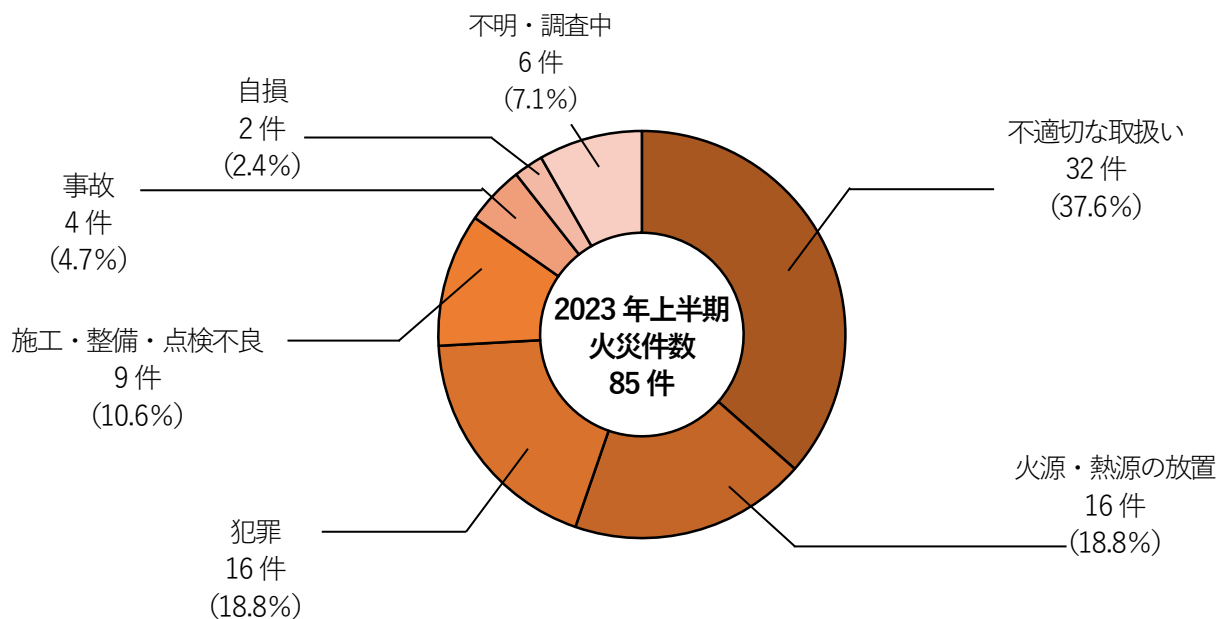
4 出火原因

出火原因で最も多いのは「放火（疑いを含む）」の18件（21.2%）、次いで「たき火」の16件（18.8%）、「たばこ」の8件（9.4%）と続きます。



5 火災に至る行動等の分析

火災に至る行動等で最も多いのが「不適切な取扱い」の32件（37.6%）、次いで「火源・熱源の放置」、「犯罪」がそれぞれ16件（18.8%）と続きます。



以上

